

# 令和4年度 市政アンケート調査 第3回結果報告(概要版)

## 1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
  - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民682人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
  - ②任期 :令和4年4月7日から令和5年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内:郵送・メール、回答:郵送・WEB】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

## 2. 第3回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和4年7月25日から8月8日まで
- (2) 調査対象者数
- 680人
- (3) 回答者数
- 585人
- (4) 有効回答率
- 86.0%
- (5) 調査テーマ
- ①「情報通信の利用状況」について
  - ②「博多湾の海底ごみ」について
  - ③「福岡市の国際化」について
  - ④「道路整備」について

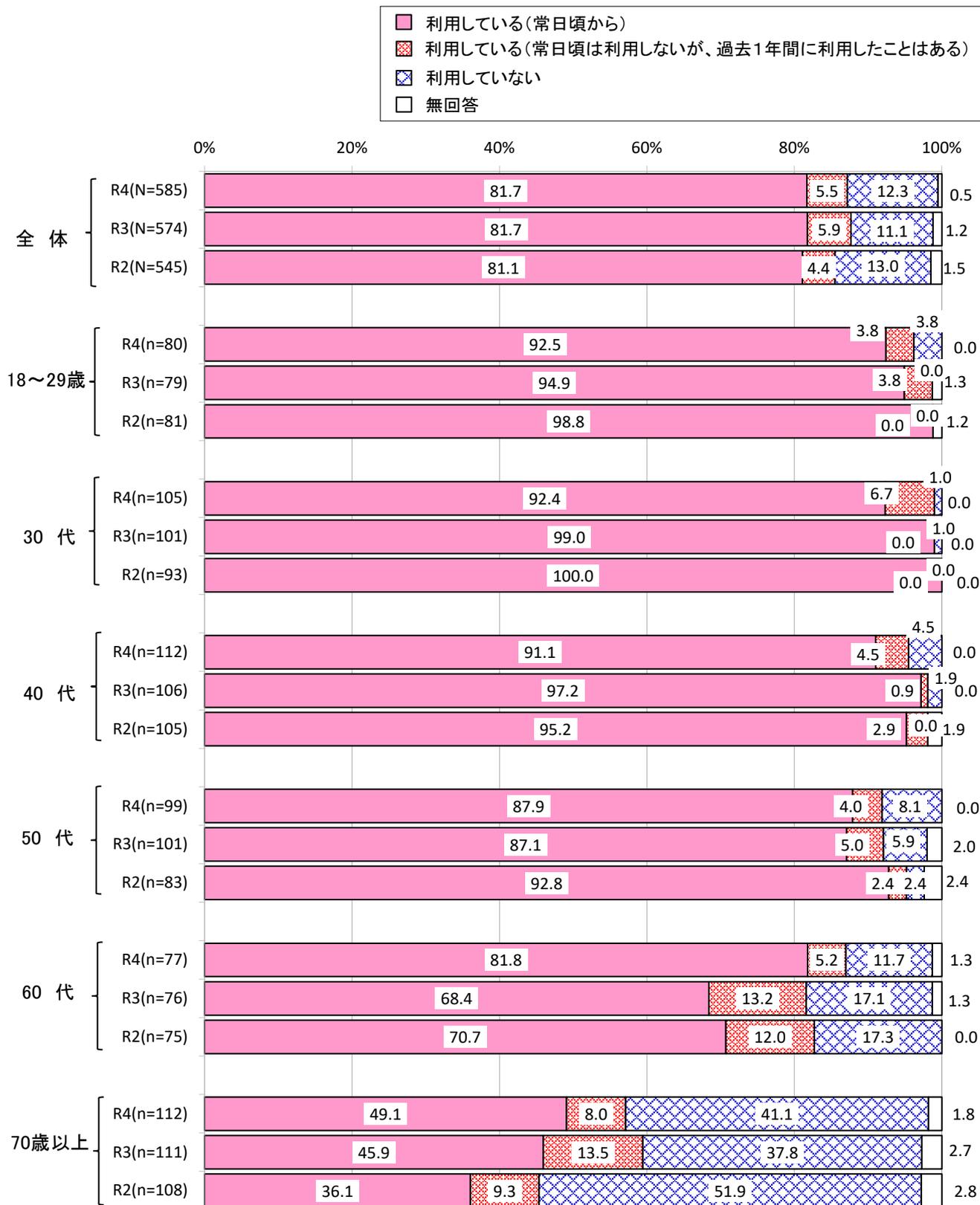
## 3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

# ①「情報通信の利用状況」について(N=585)

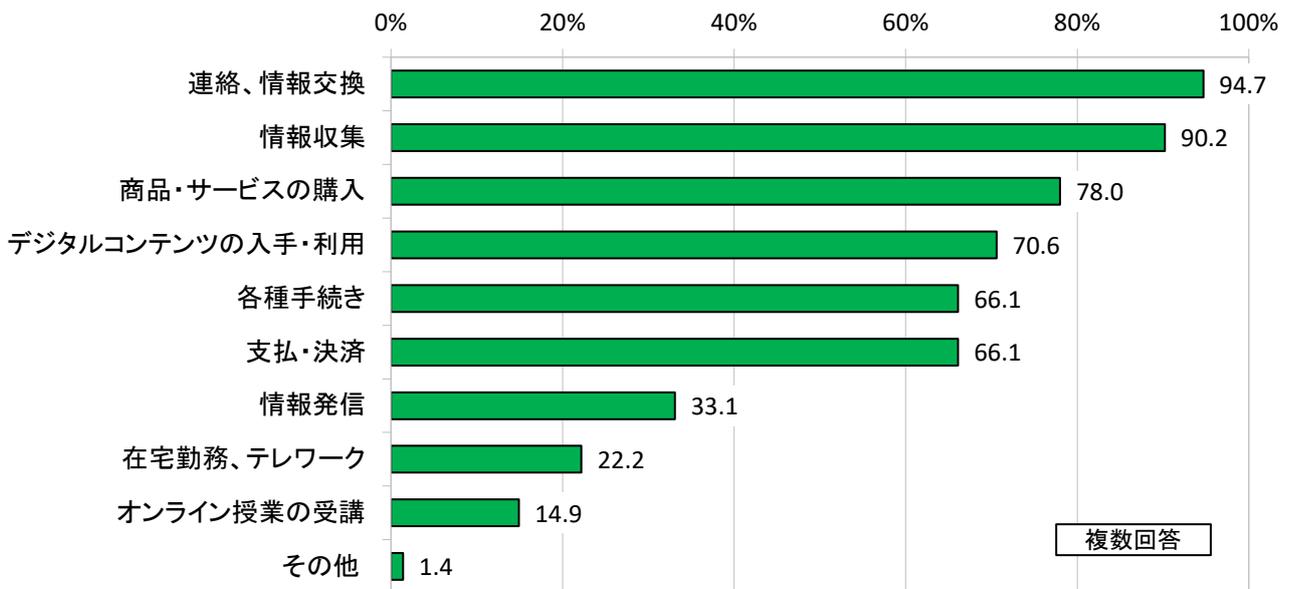
※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものの例:『重要』=「重要」+「どちらかといえば重要である」

## 「インターネットの利用状況」年代別(過去3年間の調査と比較)



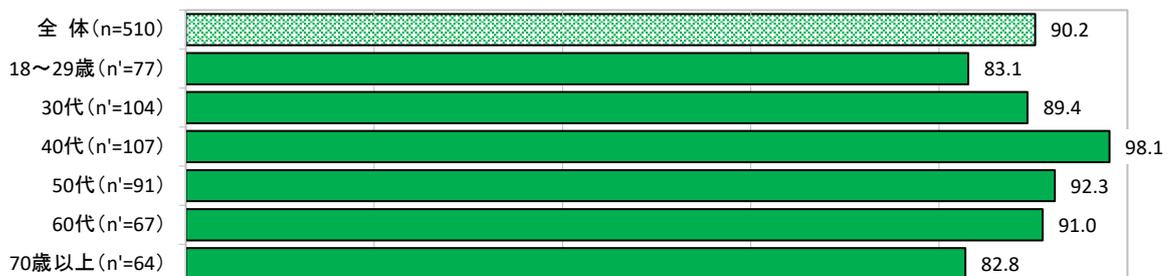
60代では「利用している(常日頃から)」と回答した方は令和3年度で68.4%、令和4年度で81.8%となり、13.4ポイント上昇しています。

《インターネットの利用目的》 ※『利用している』方が回答(n=510)



◆年代別(一部抜粋)

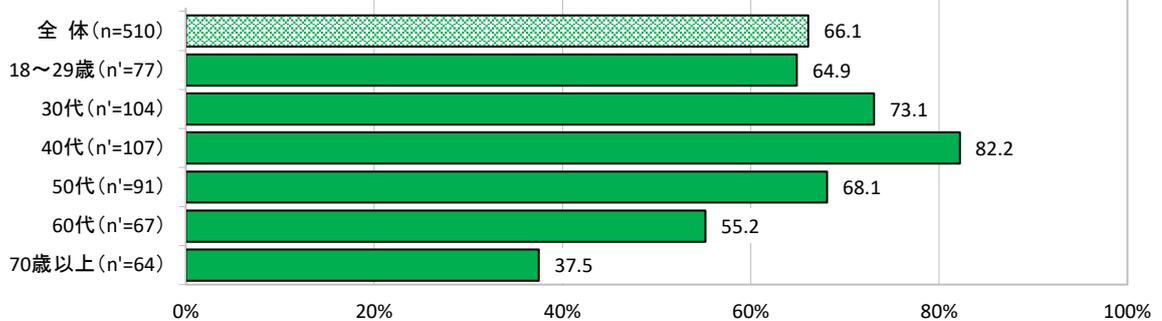
■情報収集



■商品・サービスの購入

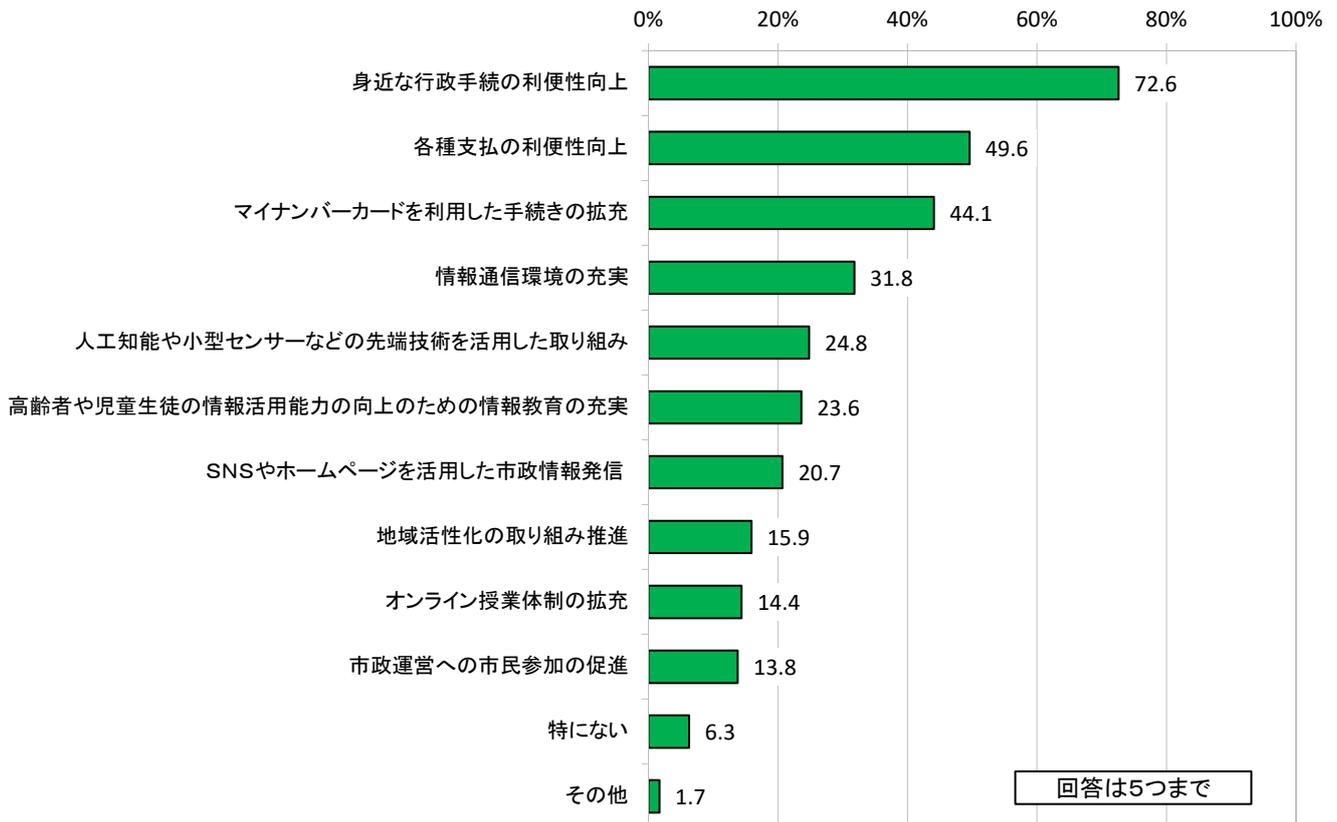


■各種手続き



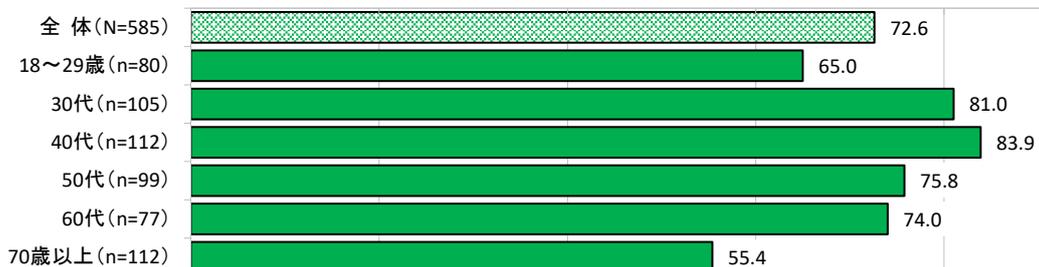
年代別にみると、「情報収集」はいずれの年代においても8割を超える結果となりました。「商品・サービスの購入」では40代が92.5%、「各種手続き」でも40代が82.2%と最も高い割合となりました。

## 《今後期待する福岡市のインターネットを利用した情報化の取り組み》

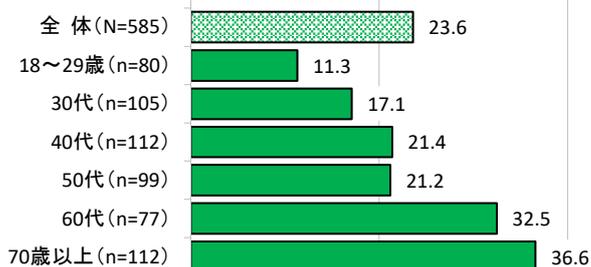


### ◆年代別（一部抜粋）

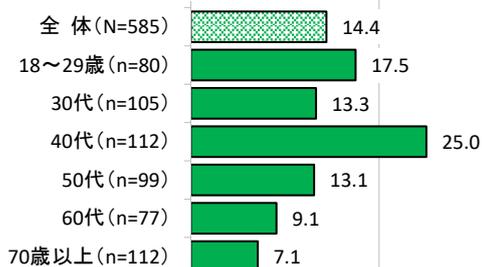
#### ■身近な行政手続の利便性向上



#### ■高齢者や児童生徒の情報活用能力の向上のための情報教育の充実



#### ■オンライン授業体制の拡充

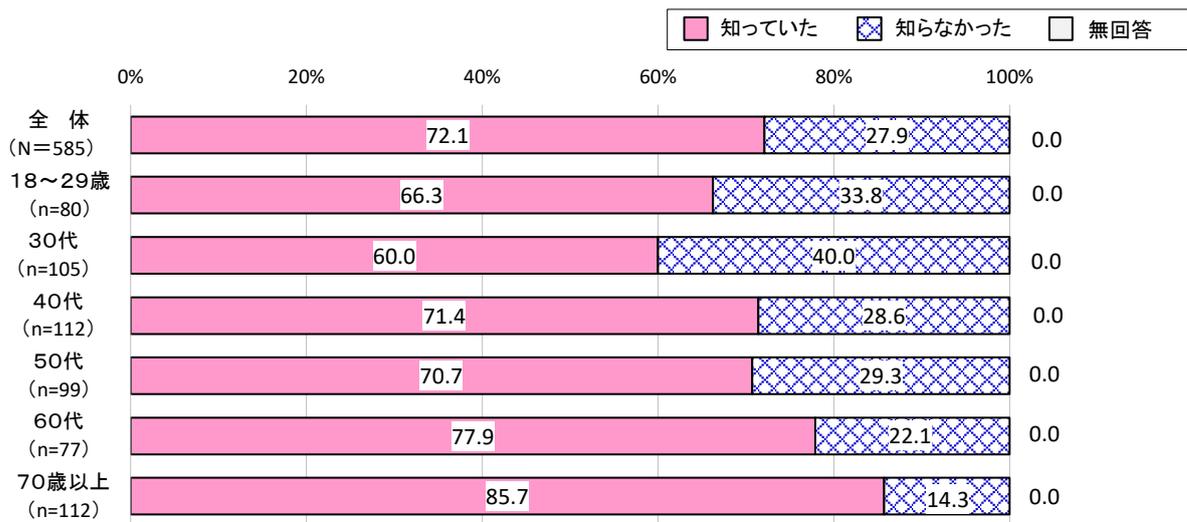


年代別にみると、「身近な行政手続の利便性向上」は、いずれの年代においても5割を超える結果となりました。「高齢者や児童生徒の情報活用能力の向上のための情報教育の充実」は、70歳以上の割合が最も高くなっています。「オンライン授業体制の拡充」は、40代が25.0%で、最も高い割合となりました。

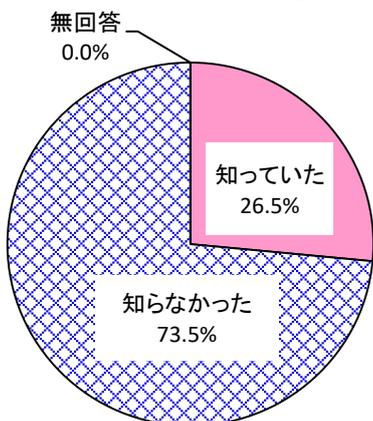
0% 20% 40% 60% 80% 100%

## ②「博多湾の海底ごみ」について(N=585)

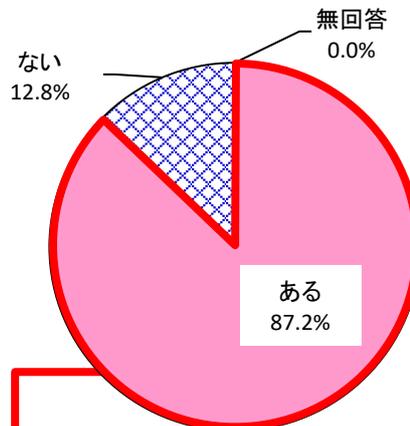
《日常生活ごみが河川などを通して博多湾に流入し、海底ごみとなっていることを知っていたか》



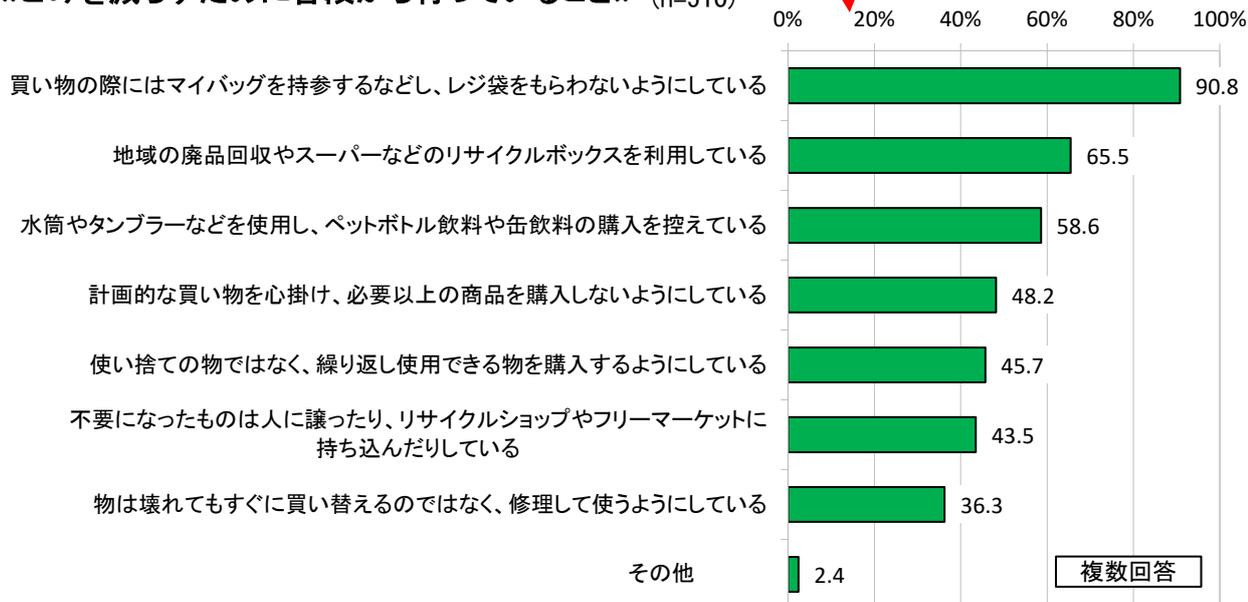
《漁業者が博多湾の海底ごみを回収していることを知っていたか》



《ごみを減らすために普段から行っていることがあるか》



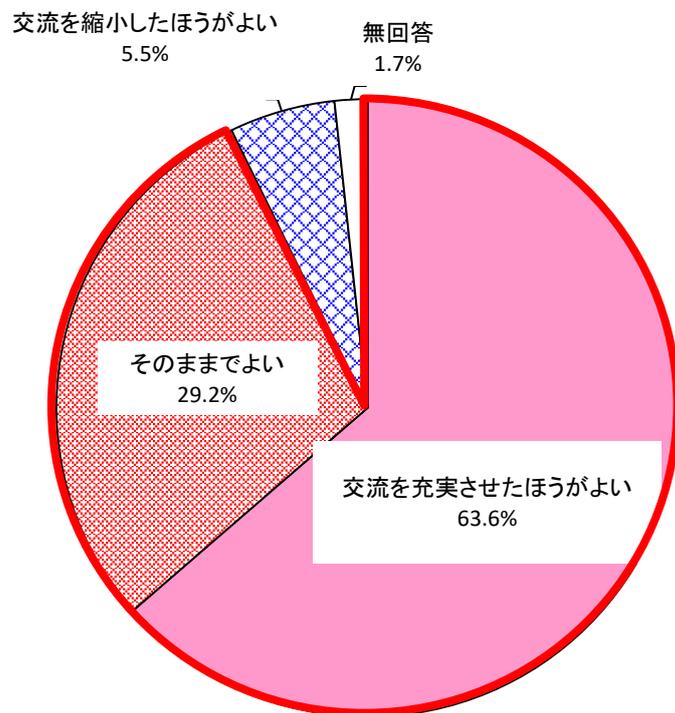
《ごみを減らすために普段から行っていること》 (n=510)



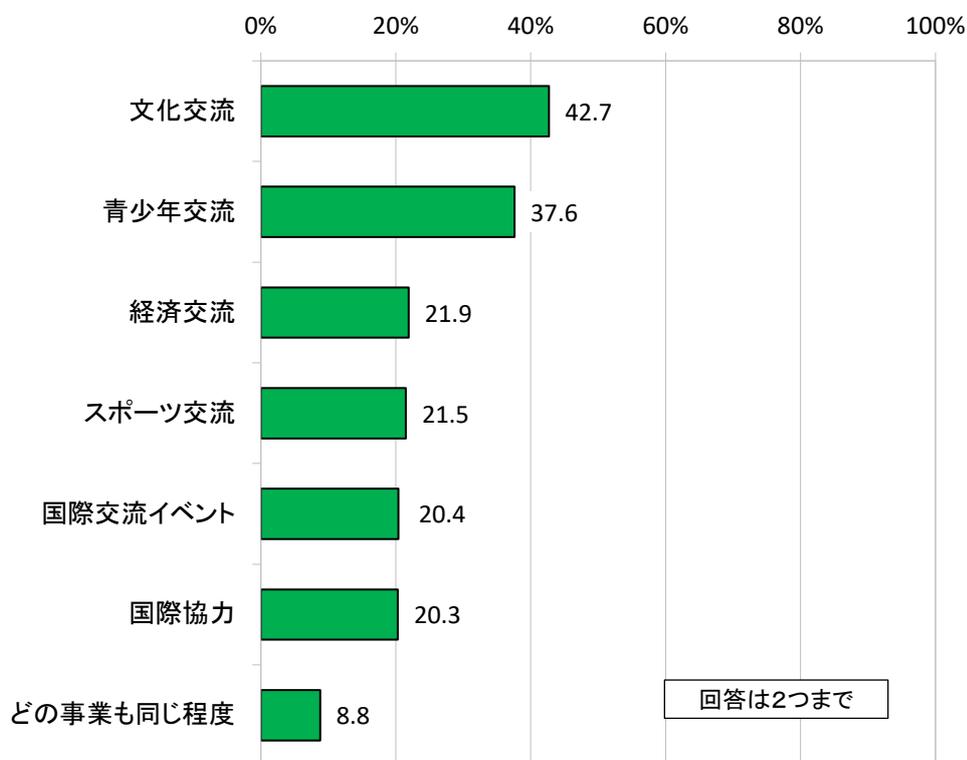
「買い物の際にはマイバッグを持参するなどし、レジ袋をもらわないようにしている」と回答した方が90.8%と最も多くなりました。

### ③「福岡市の国際化」について(N=585)

《今後の福岡市と姉妹都市との交流について》

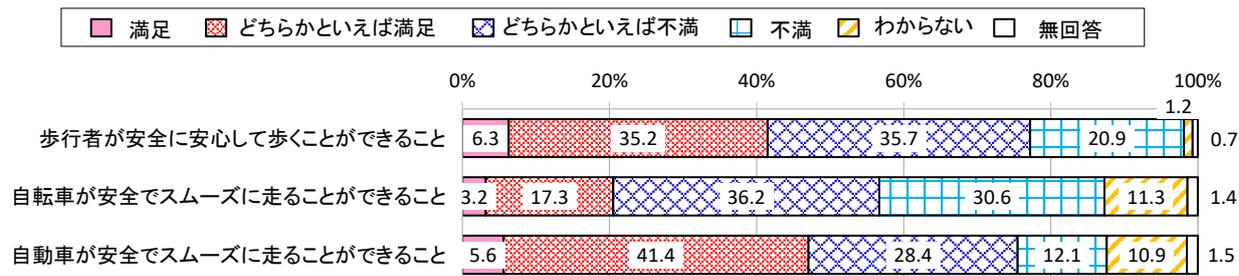


《姉妹都市交流事業のうちどの事業に力を入れるべきか》(n=543)



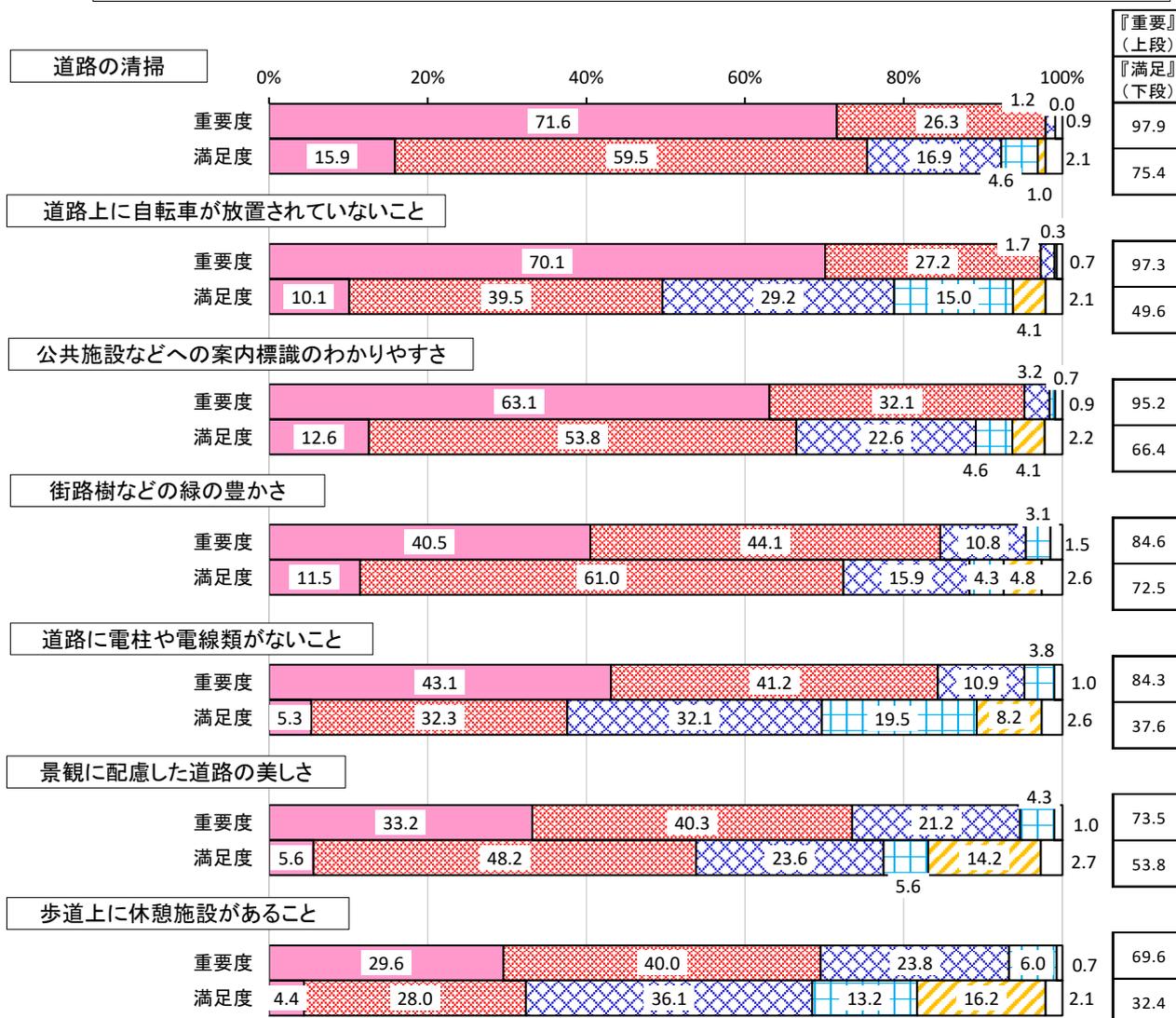
#### ④「道路整備」について(N=585)

##### 《道路の安全性や走行性について》



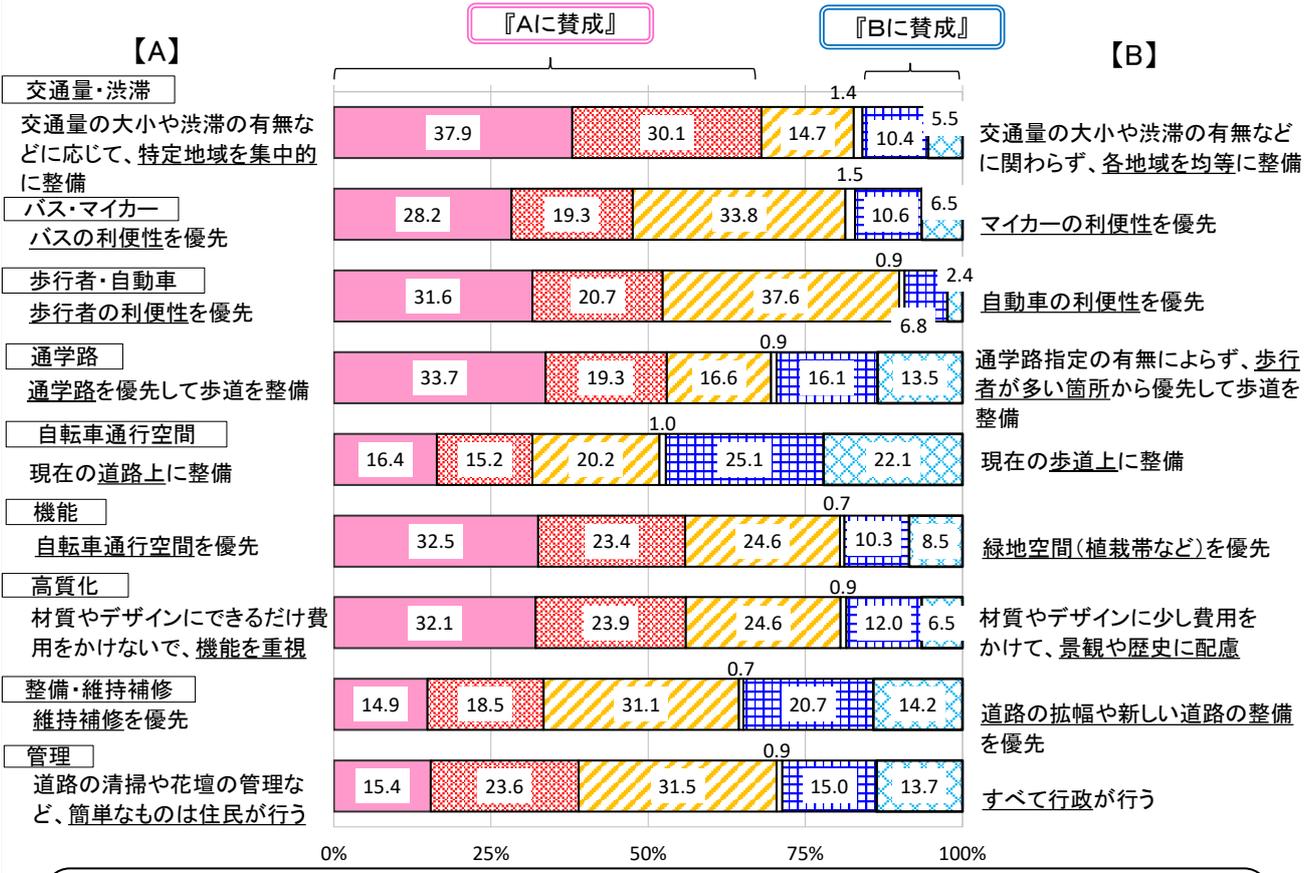
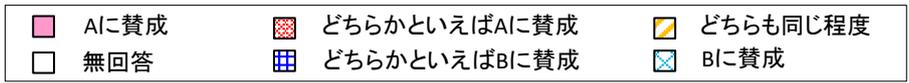
「歩行者が安全に安心して歩くことができること」に『満足』と回答した方は、全体の41.5%でした。

##### 《道路の快適性や利便性について》



重要度について『重要』と回答した方は、「道路の清掃」で97.9%、「道路上に自転車が放置されていないこと」で97.3%でした。満足度について『満足』と回答した方は、「道路の清掃」で75.4%、「街路樹などの緑の豊かさ」で72.5%となりました。

## 《道路の整備・維持管理の考え方》



【B】「交通量の大小や渋滞の有無などに関わらず、各地域を均等に整備」(15.9%)よりも【A】「交通量の大小や渋滞の有無などに応じて、特定地域を集中的に整備」(68.0%)に『賛成』との回答が52.1ポイント高くなっています。

## 《力を入れていくべき道路事業》

